
東北大学陸上競技部

OB・OG通信

2019年No.6 (2019.12)

- ・ 秩父宮賜杯第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会
日本学連選抜チームとして松浦(4)が出場
 - ・ 第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会
東北学連選抜チームとして栗原(M2)が出場
 - ・ 第 31 回出雲全日本大学選抜駅伝競走
東北学連選抜として松浦(4)が出場
 - ・ 第 74 回国民体育大会
佐貫(4)が成年女子 400m, 成年少年女子共通 4×100mR に出場
-

- ・ 第 31 回出雲全日本大学選抜駅伝競走 2 ページ
- ・ 第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 2～3 ページ
- ・ 秩父宮賜杯第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会 3～4 ページ
- ・ 第 74 回国民体育大会 5 ページ
- ・ 第 47 回東北学生陸上競技選手権大会 5 ページ
- ・ OB・OG 対現役対抗戦 6 ページ
- ・ 秋保マラソン 6 ページ
- ・ 東北大学陸上競技部祝勝会 6 ページ
- ・ 三秀総会のお知らせ 7 ページ
- ・ 自己ベスト更新者 8 ページ
- ・ 今後の予定 8 ページ
- ・ 編集後記 8 ページ

向冬の候、会員の皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。

今号では全国大会で活躍した選手を中心に、各大会における選手の活躍をお伝えします。

◎ 第 31 回出雲全日本大学選抜駅伝競走 (10/14) ..出雲大社～出雲ドーム (島根)

地方学連選抜を含む 21 チームにより争われました。東北大学からは、松浦(4)が東北学連選抜として出場しました。選手のコメントを掲載します。

第 1 区 松浦 崇之(4)

この度、第 31 回出雲全日本大学選抜駅伝競走に東北学連選抜として出場しました。私は 1 区を走り、結果は 24' 45(12 位/21 位)でした。過去 2 年の 18 位、17 位に比べて大幅に区間順位を上げることができました。全国大会でこんなにも前の選手と勝負できたのは初めての経験です。しかし、勝負ができただけで勝てるような実力はまだありませんでした。全国でも勝てる選手になれるように、今後も励んでいきます。最後に、今回は応援してくださった皆様ありがとうございました。

◎ 第 37 回全日本大学女子駅伝対校選手権大会 (10/27) ..仙台市

東北学連選抜として栗原(M2)が出場しました。出場選手からのコメントを紹介します。

第 1 区 栗原 唯(M2)

10 月 27 日に仙台市内で行われました第 37 回全日本大学女子駅伝 (全女) において、東北学連選抜として第 1 区を走らせていただきました。本大会に出場するのは昨年に続き 2 度目で、昨年の悔しさを糧に 1 年間練習に励んできました。光栄なことに、今年は主将として、そして走力でもチームを引っ張っていく立場になりました。昨年は競技に復帰したばかりだったこともあり、チームが編成されてからの 1 ヶ月間はただただ 1 秒でも速く走れるようにと余裕なく練習していました。しかし今年は立場が変わり、1 ヶ月間一度きりのチームをまとめていくことや、自分の走りがチームの結果を左右することになる責任感で、非常に良い緊張感のある 1 ヶ月を過ごしました。北日本インカレからは原因が明確でない不調が続き、全カレなどの大会や普段の練習でも思うような走りができず苦しい 3 ヶ月を過ごしていたので、今回の駅伝での大役は不調から脱するべく良いきっかけになりました。

昨年は 5 区でしたが、今年は 1 区を任されました。今年のチームは例年に比べて厳しい戦いになるとことは予想されていたので、私が 1 区でどれくらい頑張れるかが白タスキのカギを握ると考えていました。今年から一部コースが変わったこともあり、1 区には走力のある選手がエントリーされていましたが、果敢に攻め区間 15 位を目標にレースに臨みました。当日のウォーミングアップでは、不調以降一番調子が良く動きも整っていたので自信をもってスタートラインに立つことができました。今年は白タスキではなく、選抜の刺繍の入ったタスキをかけることができ感動するとともに気が引き締まる思いでした。号砲とともに走力のある選手たちが飛び出したので例年にないくらいハイペースなスタートとなり、第二集団の後方につけていた私ですら最初の 1 キロが 3' 10 でした。イーブンペースで淡々と走るタイプの私には苦手なレース展開であり、ハイペースで入ってしまったこ

とはラップを見ずとも分かっていたのですが、それでも攻めて走りました。そのため、前半で足を使い果たしラストスパートが全く効かず、区間順位も 21 位とチームには非常に申し分けない走りとなってしまいました。全国のトップ選手に食らいついて前半から攻める走りができたので悔いはありません。後々に見たラップタイムやレースの内容からも反省すべきことや課題は山ほどありましたが、久しぶりに気持ちよくそして楽しく全力で走ることができました。

チームとしては、地元東北勢として震災や台風で被災した方々に勇気と希望を与えられるような走りをするを目標に掲げたので、結果としてはタスキが途切れてしまったものの、チーム全員が力強い走りをする事ができましたと思います。

私は、この杜の都を走りたくて東北大の大学院に進学しました。もっと杜の都を走りたいという思いはありますが、最後の駅伝は悔いなく終わることができたと思います。また、昨年の全女の感想で目標に掲げた全カレ出場と、全女のリベンジも達成できたのでそこに関して心残りはありませんが、新たにできた目標に向けて卒業まで挑戦し精一杯走っていきたいと思います。そして、この経験や練習への取り組みなどを後輩たちと共有することも先輩としての責務だと考えているので、卒業までに少しでもパートのレベルアップを図り、今後さらに成長した姿を見ていただけるよう努力していきます。今年も、多くの方々からの声援をいただき苦しい時に本当に力になりました。応援してくださった全ての方々、そして運営に携わった方々に心から感謝申し上げます。

◎ 秩父宮賜盃第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会 (11/3)

…熱田神宮(愛知)～伊勢神宮 (三重)

東北大学は 9 月 26 日に行われた東北地区予選を突破できず、7 年連続 14 回目の本大会出場を逃しました。しかし予選会 16km の部で 1 位となった松浦(4)が日本学連選抜チームに選抜され本大会に出場しました。出場した選手のコメントを掲載します。

第 6 区 松浦 崇之(4)

この度、秩父宮賜杯第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会に日本学連選抜チームとして参加しました。結果は以下の通りです。

6 区(12.8km)

38 分 53 秒(区間 11 位/27 位)

今年の全日本大学駅伝には、東北大学としては参加できませんでした。しかし、予選会の 16km の部で個人優勝したことで日本学連選抜に選出されました。選ばれたときは、出走できるかわからなかったのですが、10 月中旬に 10000m で自己ベストを大幅に更新し、走るチャンスを勝ち取りました。今の私の実力を最大限に発揮でき、区間順位は昨年の 1 区 23 位に比べると大幅に上げることができました。しかし、それでも区間 8 位とは 26 秒差、区間賞とは 1 分 27 秒差と大きな差を感じました。今の実力からすれば満足できる結果ですが、まだまだ実力不足です。この実力差を埋める為に、今後ともさらなる努力を重ね精進していきます。

また、今回は日本学連選抜というはじめての経験を経て、各地区のトップ選手と 5 日間と短い間でしたが過ごし、とても刺激を受けることができました。

今年は東北大学として全日本大学駅伝には参加できませんでした。よくこうゆう時に選手がOB・OGに向けて申し訳ありませんと謝罪するのを見かけます。私は東北大学として参加できなかったことに対して、申し訳ないなどという感情は全く抱いていません。これだけ聞くと、応援している人を軽視していると思われかもしれませんが、そうゆう訳ではありません。申し訳ないと思う暇があるなら次に向けて1秒でも早く努力を重ね、強くなった東北大学が全日本に再び出場することが、応援してくださる方々にできる1番のことだと思っています。ですので、来年の全日本大学駅伝、東北大学が再び熱田神宮前のスタートラインに立って、伊勢神宮のゴールテープを切るのを楽しみに待っていてください。そして、これからも応援よろしくお願いします。

最後に、チームとして参加できない中、現地まで応援に駆けつけてくれた皆様、テレビなどで応援をしてくださった皆様、ありがとうございました。



日本学連選抜のメンバー。上段,中央でダブルピースをする松浦



◎ 第 74 回国民体育大会 (10/4~8) ..笠松陸上競技場

茨城県で行われた国体で、成年女子 400m と成年少年女子共通 4×100mR に佐貫(4)が
出場しました。リザルトと選手の感想を紹介します。

成年女子 400m

・佐貫 有彩(4) 予選 3組3着 56"51

成年少年女子共通 4×100mR

・成田-佐貫-佐々木-佐藤 予選 1組8着 47"64

10/4~8 に行われた福井国体に秋田県代表として成年女子 400m と女子 4×100mR に出場
し、400m、4×100mR 共に予選敗退という結果でした。

400m のレース展開は、前半はバックストレートが強い向かい風だったのもあって、かな
りゆるめに入り内レーンの人に抜かされ、200m 通過から徐々に上げていって残り 100m で
切り替えるも前との差はほとんど縮まらず3着でゴールというものでした。全体の 11 番目
のタイムでした。悪天候だったため、決勝ラインはかなり低く、今年の SB ぐらいの走りを
すれば十分決勝は狙えるタイムでした。敗因としては、前半突っ込めなかったことと、100m
の切り替えで一気に上げすぎラストまで足が持たなかったことが挙げられます。

ただ、今シーズンの 400m のレースパターンはほぼ全てラスト 100m で切り替えだったの
で、国体でレースパターンがうまくはまらなかったのも無理はないかなと思います。今回
の国体で学んだことを生かし、来シーズンにつなげることができたらと思います。

最後になりますが、多大なるご支援をしてくださった秋田県陸上協会、並びに応援して
くださった部員・OB の方々、本当にありがとうございました。

◎ 第 47 回東北学生陸上競技選手権大会 (10/12~14) ..ND ソフトスタジアム山形

台風が接近する悪天候により、多くの選手が棄権する中で入賞する活躍を見せた選手の
結果を掲載します。

男子 100m	7 着	白鳥 海知(5)	10"74(+0.9)
男子 1500m	2 着	松田 将大(M1)	3'57"32
	8 着	村松 兼志(3)	4'09"11
男子 5000m	4 着	松田 将大(M1)	15'55"54
男子 10000m	2 着	柚木 友哉(M2)	32'47"27
男子棒高跳	1 着	山下 一也(M1)	2m03
女子 100m	1 着	佐貫 有彩(4)	12"08(+0.0)
女子 100mH	8 着	泉屋 咲月(3)	15"67(-0.1)
女子やり投	7 着	畠山 千果(1)	26m51

◎ OB・OG 対現役対校戦 (10/19) ・・評定河原競技場

評定河原グラウンドで10月19日(土)に開催予定であったOB・OG戦は雨天のため中止となりました。

◎ 秋保マラソン(11/9)

仙台市太白区秋保地区周辺で今年度も秋保マラソンが開催されました。各部門の表彰者をご紹介します。

18km の部

・優勝	松浦 崇之(4)	56'30
・準優勝	木村 秀(3)	58'27
・3位	松舘 快(2)	63'29
・OB 優勝	真山 隆徳(S56)	79'15

9km の部

・優勝	松岡 陽太(2)	30'08
・女子1位	上條 麻奈(4)	33'29
・女子2位	加藤ひより(3)	37'26
・女子3位	阿部 柚佳(1)	37'11
・マネージャー1位	矢崎 碧(1)	42'49
・ブービー賞	中村 祐貴(1)	57'31

4km の部

・優勝	井戸端 祐樹(4)	17'18
・女子1位	中村 揺菜(1)	44'01

◎ 東北大学陸上競技部祝勝会 (11/9) 東北大学北門会館 1F さくらキッチン

女子の七大戦三連覇を祝い祝勝会を開催しました。男子部員 37 名、女子部員 21 名、社会人 16 名の 74 名が集いました。

稲見会長のご挨拶の後、石井孝さんの乾杯で開宴となりました。しばし歓談の後、女子主将佐貫さん(4)の挨拶、司会の彦坂副部長のインタビュー形式のもと七大戦での女子入賞者、男子入賞者から一言いただきました。その後 OB・OG のご挨拶があり、佐藤部長による中締めにてお開きとなりました。

出席した OB・OG の皆様(敬称略)

石井孝(S39)、稲見文雄(S49)、大浦譲(S54)、佐藤源之(S55)、遠藤久則(S55)、二瓶薫子(S58)、大原綾(S58)、佐藤由美(S60)、佐々木起代子(S60)、平良千鶴子(S60)、渡邊裕生(S62)、彦坂幸毅(H2)、吉田真人(H9)、田附遼太(H25)、竹原大(H28)、渡邊朝美(H29)

三秀会会員各位

会長 稲見文雄

三秀総会のご案内

今年度の総会を下記のとおり行います。

また例年通り総会終了後忘年会を行ないますので、ふるってご参加ください。

総会

日時：2019年12月1日（日） 15時30分より
例年より30分早くなっています。

会場：新宿ライオン会館6F
<https://r.gnavi.co.jp/g160501/map/>

忘年会

日時&会場：総会終了後、同会場にて
会費：5,000円

また、本年は忘年会終了後、北大羊蹄会との合同2次会が予定されています。

参加される方は、下記アドレスの柴田幹事長までお知らせください。
その際、2次会への参加有無についても、わかる範囲でお知らせください。
shibata.kiyoshi@p.chibakoudai.jp

◎ 自己ベスト更新者(9/25~11/11)

- ・男子 100m
二ノ神 遼(2) 11"41(+1.1) (仙台大競) 石垣 雅生(2) 15'53"75 (平成国際大競)
- ・男子 200m
加地 拓弥(3) 22"93(-0.3) (仙台大競) 臼井 駿斗(3) 15'54"80 (仙台大競)
- ・男子 800m
菅野 耀広(2) 2'02"32 (仙台大競) 黒須 大地(3) 16'03"24 (仙台大競)
- ・男子 1500m
松田 将大(M1)3'55"31 (平成国際大競) 西村 樹(2) 17'51"33 (仙台大競)
- 金田 大輝(2) 4'13"17 (個人選) 赤星 栄治(3) 4m30 (仙台大競)
- ・男子 5000m
齊藤 寛峻(D3) 15'07"45 (仙台大競) 田沼 怜(3) 32'56"79 (平成国際大競)
- ・男子 10000m
松浦 崇之(4) 29'53"08 (順天堂記)
- ・男子棒高跳
赤星 栄治(3) 4m30 (仙台大競)
- ・女子 100m
佐貫 有彩(4) 12"08(+0.0) (個人選)
- ・女子 100m
泉屋 咲月(3) 13"67(-0.3) (個人選)

◎今後の予定

- ・12月1日(日) 三秀総会 (東京)
- ・3月 卒業祝賀会 (仙台)
- ・3月 春合宿

◎編集後記

全日本大学駅伝や秋の記録会シーズンが終わり、冬季練習の時期になってきました。今年
は全国の舞台で多くの部員が活躍し、陸上競技部にとって素晴らしい1年となりました。来
年さらに飛躍するためには、冬季に地道な練習を積み重ねることが何よりも重要です。しっ
かり目標を持ち、怪我に気を付けながら、部員一同冬季練習に励んでまいりますので、今後
とも応援よろしくお願ひします。 【文責 副務 牧野 雅紘】

東北大学陸上競技部三秀会

〒980-0815 仙台市青葉区花壇2-1

東北大学評定河原グラウンド内

hukumu_tohoku_ob2sin@yahoo.co.jp